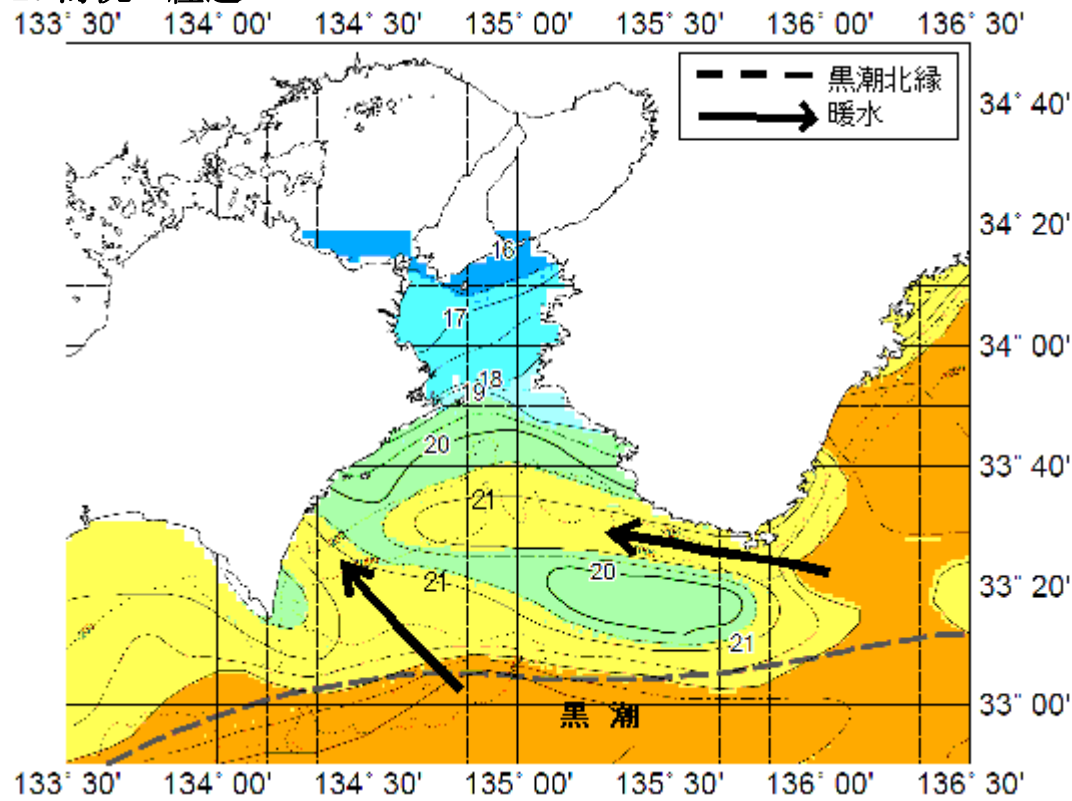


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H21.5.18)を示した。

黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西の黒潮は、都井岬沖でやや離岸、足摺岬沖で接岸している。

黒潮本流の表面水温は22～23℃台である。

表面水温は播磨灘が16℃台、紀伊水道が16～18℃台、紀伊水道外域が18～21℃台である。

外域では、和歌山県側からの暖流と、室戸沖合から海部沿岸に向けた緩流が発生している。暖流に囲まれた水域は、周辺と比べて水温が低い。内海系水は、和歌山県側に流出している。

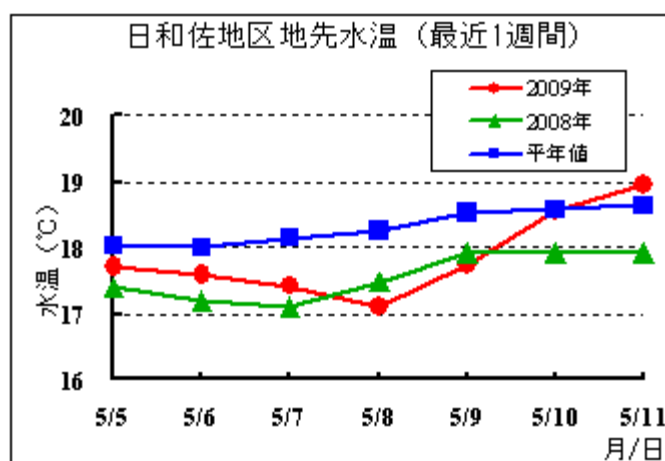
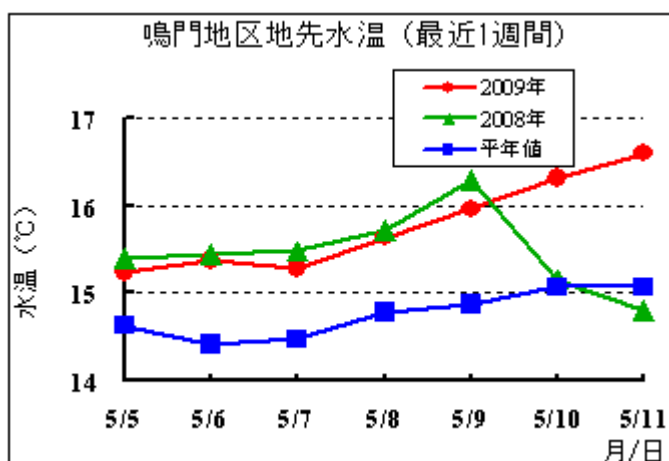
漁業調査船「とくしま」が5月1日に行った播磨灘海区の海洋観測では、水温は表層～20m層では「平年並み」の13.9～14.7℃、30m層で「やや高め」の13.6℃であった。

播磨灘海区観測結果 (観測日 2009/5/1)

水温	水深				塩分	水深			
	表層	10m	20m	30m		表層	10m	20m	30m
今年値	14.7	14.0	13.9	13.6	今年値	32.8	32.8	32.8	32.9
平年偏差	-0.4	0.0	0.2	0.6	平年偏差	0.5	0.4	0.4	0.3
前年偏差	-2.1	-1.1	-0.4	-0.2	前年偏差	0.3	0.2	0.2	0.2

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「やや高め」の15.3～16.6℃、日和佐地区は「やや低め」～「平年並み」の17.1～19.0℃、牟岐地区は「低め」～「やや高め」の16.0～19.9℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが0.4トン(1日1隻当たり22kg)、ウルメイワシが0.3トン(同12kg)、カタクチイワシが0.3トン(同27kg)、キビナゴが0.3トン(同16kg)、トビウオ類が0.6トン(同76kg)、小主体にマアジが0.3トン(同10kg)、マルソウダが1.5トン(同33kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、大主体にイサキが0.3トン(同42kg)、大主体にシイラが0.5トン(同82kg)、中主体にハマチが33.9トン(同3.8トン)、中・小小主体にマアジが1.8トン(同252kg)、マルソウダが3.5トン(同499kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、中主体にカツオが5.4トン(同128kg)、大主体にタチウオが0.7トン(同18kg)、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.5トン(同35kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが144.4トン(同1.1トン)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 5月4日～5月10日 県下6漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	18	402	22	
		ウルメイワシ	27	313	12	
		カタクチイワシ	11	302	27	
		キビナゴ	21	334	16	
		トビウオ類	8	606	76	
		マアジ	31	325	10	小主体
		マルソウダ	47	1,542	33	
大型定置網	海部沿岸	イサキ	7	293	42	大主体
		シイラ	6	493	82	大主体
		ハマチ	9	33,855	3,762	中主体
		マアジ	7	1,763	252	中・小小主体
		マルソウダ	7	3,496	499	
釣り	海部沿岸	カツオ	42	5,379	128	中主体
		タチウオ	41	749	18	大主体
		タチウオ	14	483	35	特大主体
パッチ網	紀伊水道	シラス	132	144,375	1,094	

特異事項:

漁業調査船「とくしま」によるクラゲ調査によると、紀伊水道南部で、ミズクラゲが多くなってきている。

週間予報:

黒潮は、室戸岬と潮岬でやや離岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の16℃台、日和佐地先で「やや高め」の18～19℃台前半で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上